

森歯科医院

2009年と2012年の比較

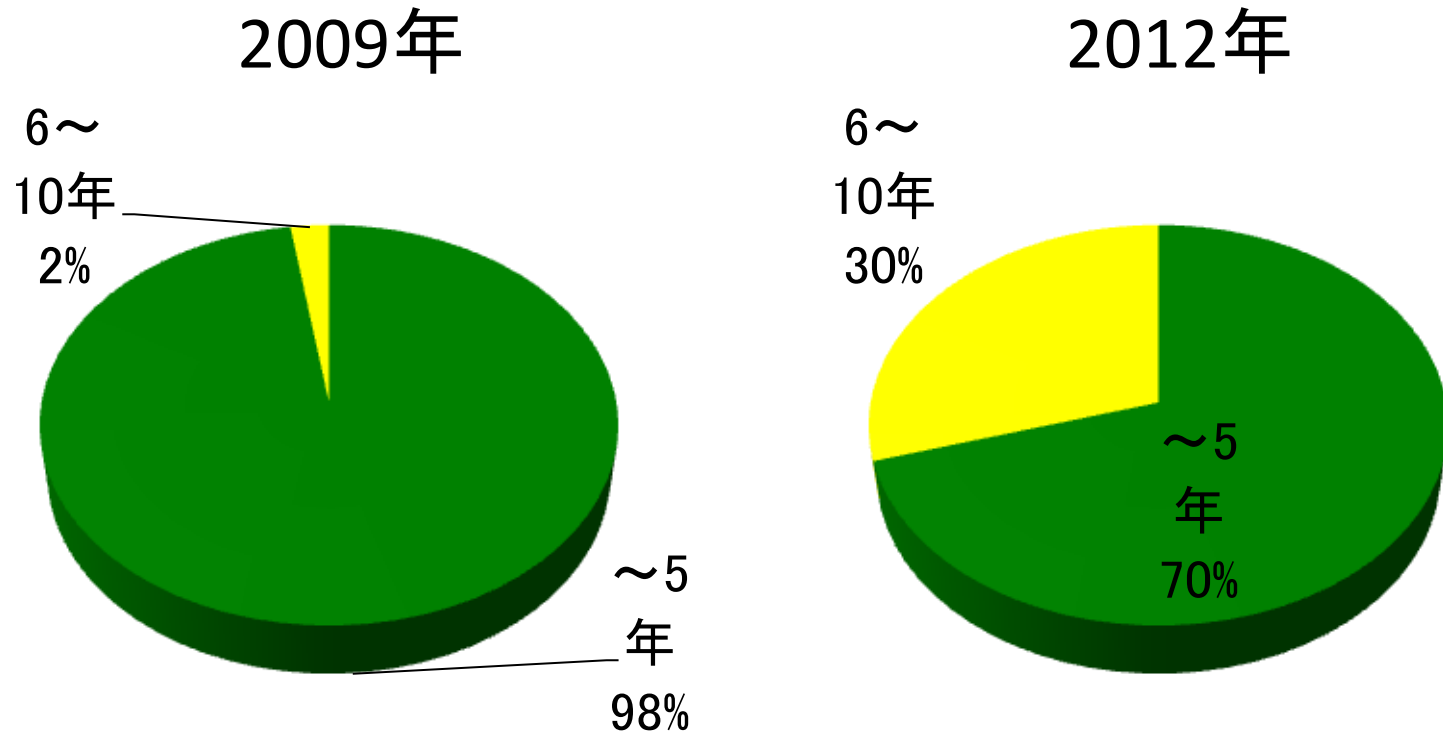
2005年1月1日以降、**歯科予防メンテナンス**を受けている患者さんで、2009年と2012年の時点で取ったデータを比較しました。

来院人数

	2009年	2012年
大人	618	702
子ども	177	387

2012年には、大人が16%増、子どもが219%増になりました。
特にお子さんの数が2倍以上になりました。

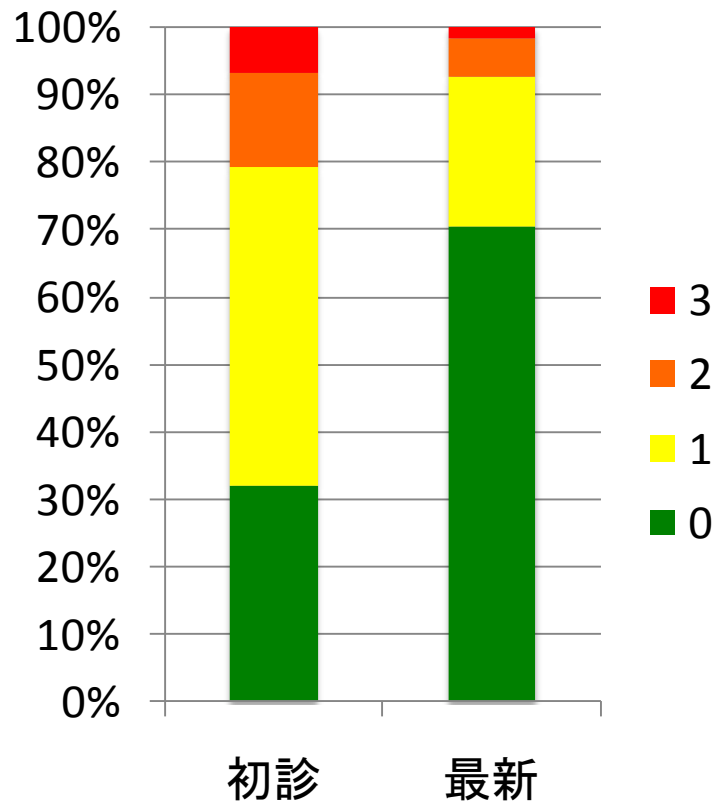
大人：メンテナンス経過年数



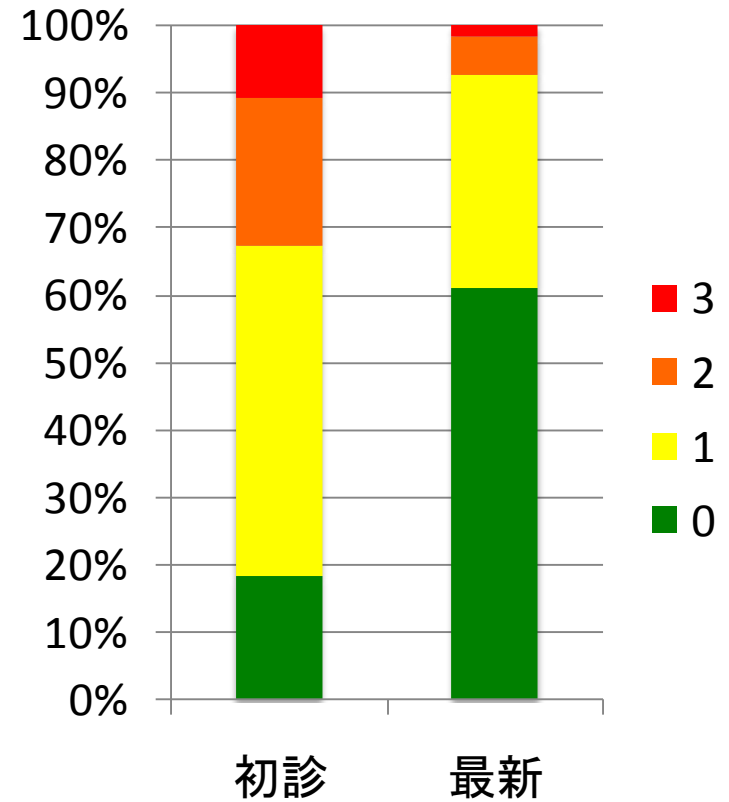
メンテナンスに6年以上通ってくれている人の数が大幅に増えました。
長く通ってくれている人が着実に増えています。生涯に渡ってメンテナンスを続けて下さいね。

大人：プラークの量

2009年

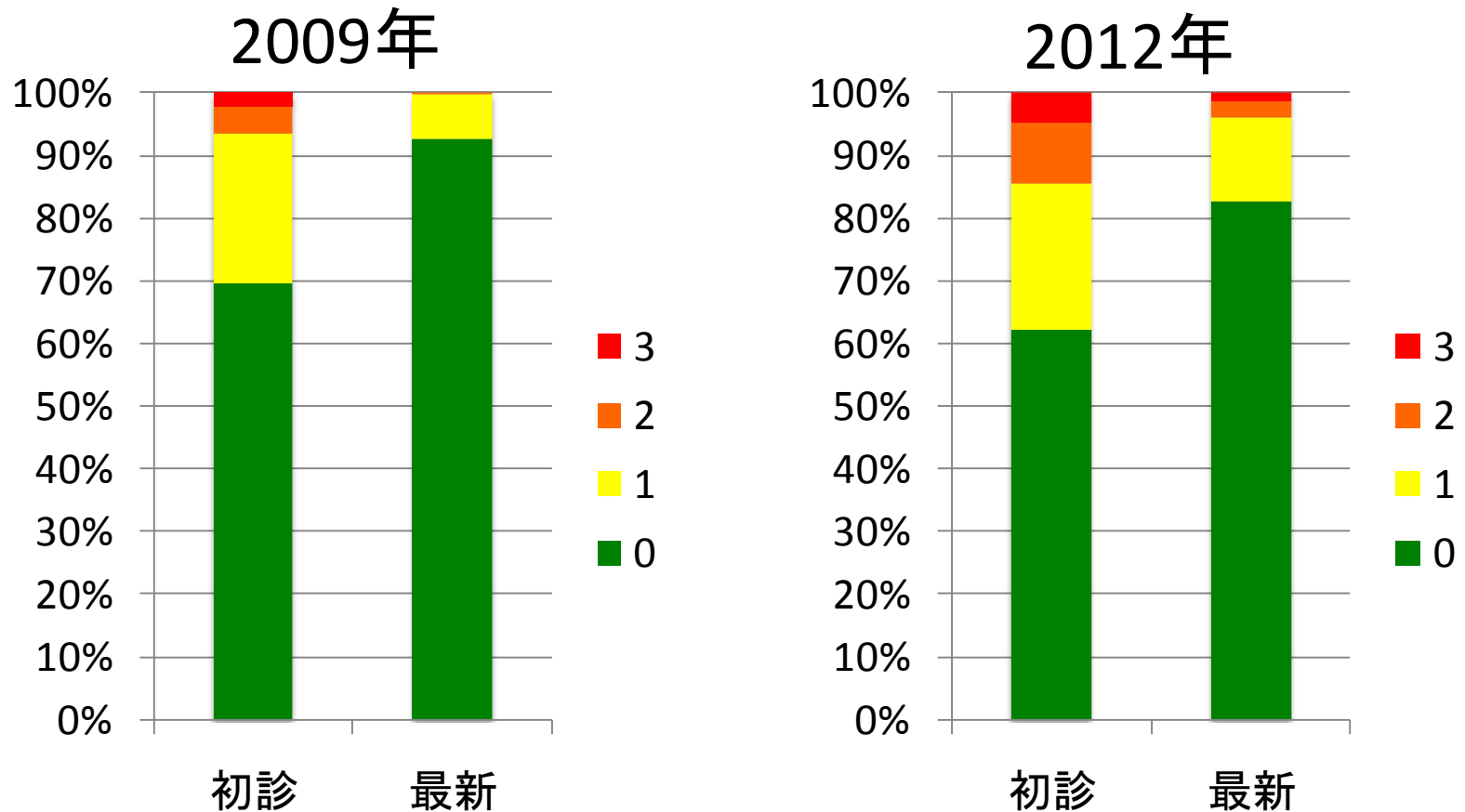


2012年



お口の中のプラークの量を調べる方法があります。0が最もよく、3が最も悪いです。2012年は2009年に比べて初診の状態があまりよくありませんでした。しかし、最新で2や3の人は2009年と同じくらい少なくなりました。

大人：歯ぐきからの出血



歯周病の検査の一つに出血を調べるものがあります。出血があると歯周病が活動的であるという目安になります。0が最もよく、3が最も悪いです。こちらも2012年の方が初診の状態は少し悪かったです。どちらも最新では良くなっていますが、2012年の方が2009年に比べると0が少なく、今後のメンテナンス課題です。

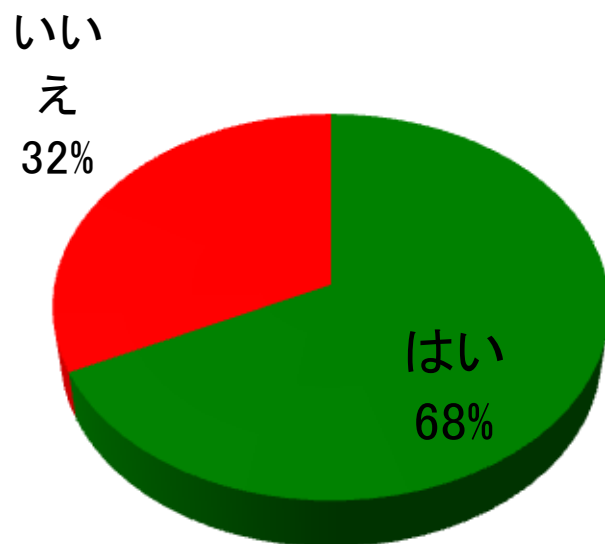
大人：メンテナンス中に失った歯の数

	2009年	2012年
対象人数	560	624
一人当たり失った歯	0.57	0.59

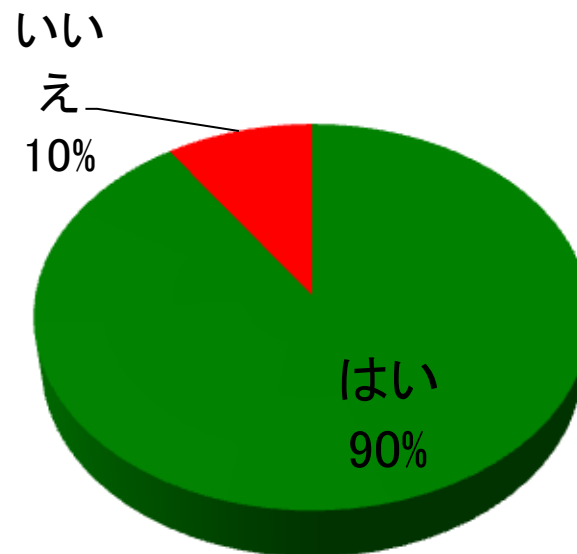
定期的または不定期にでもメンテナンスに通ってくれている患者さんのほとんどが歯を失っていませんが、一人当たりの失った歯の数は、2009年と2012年であまり変わりませんでした。メンテナンス期間が長い人が増えても、変わらないということは、長く続けられ続けるほど、その効果がますます明らかになると予想できます。

子ども: メンテナンス来院状況

2009年



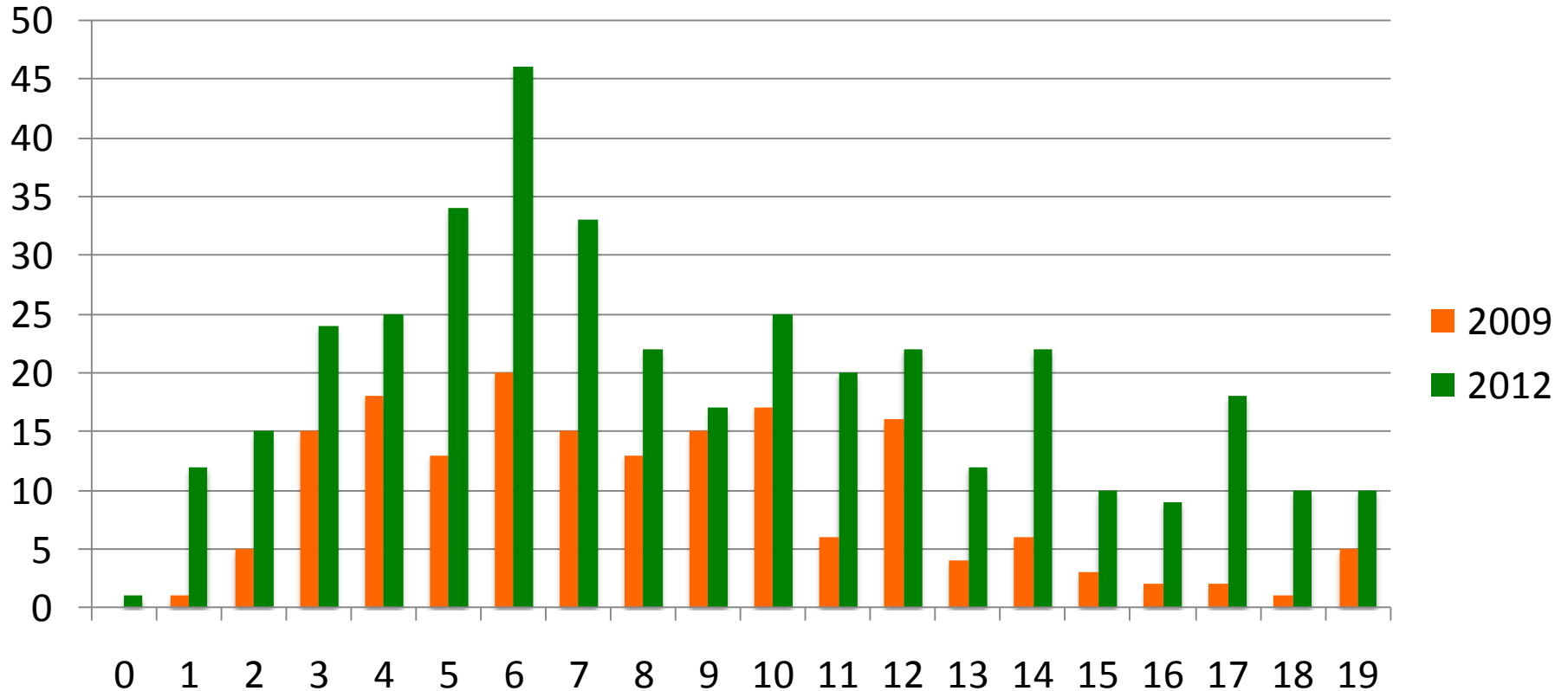
2012年



子どものメンテナンスに続けて来てくれている人は2012年で90%と、大幅に増えました。

子ども年齢分布

人数



年齢

初診時の年齢分布です。どの年齢でも2012年の方が多くなっています。